



CNHR Newsletter

CENTER FOR NATURAL HAZARDS RESEARCH, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 広域複合災害研究センター

Vol.13 July – October 2024

■新任者のご挨拶

新しく着任したメンバーからのご挨拶

兼務教員(10月1日付) 上田 佳代 (医学研究院教授)

令和6年10月に着任いたしました。医学研究院で、環境保健・環境疫学研究を専門としています。極端気象現象がもたらす災害による直接的な健康被害だけでなく、インフラ・ライフライン被害に伴う中長期的かつ複合的な健康問題や地域の医療体制への影響について明らかにする研究に取り組んでいます。疫学的手法を用いた研究から得られる知見を地域の災害対策に反映できればと思います。よろしくお願ひいたします。

■活動報告

●道新主催「みんなで考えよう防災展」に協力(9/14, 15)

北海道新聞社主催の「みんなで考えよう防災展」に特別協力として参加しました。



展示ブース

- 内容：当センターの活動内容等のブース出展、センターメンバーによるセミナー講演、来場者の方々との対談、体験コーナー運営

- 成果等：札幌市民や医療関係者の方々など、ブース来訪者と活発な意見交換ができました。また、石狩川の洪水氾濫、破堤、地震津波遡上を心配している方、災害時のドローン活用に関心を持たれる方々ともお話することができました。好評につき次年度も「防災」をテーマに開催が決定し、引き続き当センターも協力予定です。

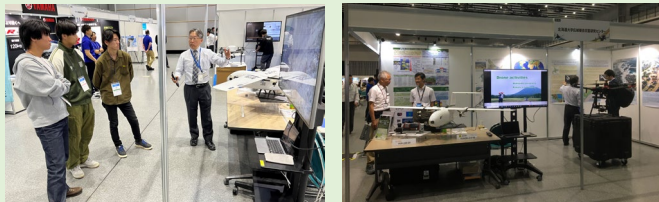


講演・対談の様子



レスキューロボット体験

●ドローンサミットに参加(10/1, 2)



第三回ドローンサミットで出展したブースでは、行政、大学、大手通信会社、ドローン関連企業など、様々な方々に関心を持っていただき、災害時におけるドローン活用の可能性についてご説明させていただきました。

■活動報告(つづき)

●釧路圏での勉強会の開催(10/11)



釧路市役所防災庁舎にて、釧路市防災危機管理課のご協力のもと、「日本海溝・千島海溝沖で発生する地震津波に関する勉強会」を開催しました。開発局や周辺市町村から計24名が参加し、地震発生想定のお考え、発災時の防災対応を実施する上での課題など、活発な議論が交わされました。

●センター内勉強会(7/18, 31, 8/22, 9/17)

ドローンの活用や災害対策基本法関連法規についてなど、当センター内の教員で勉強会を開催しました。また、災害時における自衛隊の対応について、香月智先生(元防衛大学校副校長)に話題提供していただきました。

●大学院講義(前期分の終了と後期分の開講)

7月に前期「国土保全学総論」は終了し、10月からは後期の大学院講義が始まりました。本年度からは、「突発災害危機管理論」に加え、新たに「災害対策実践論」を開講しました。道庁や開発局の災害対策担当者に講義していただいております。

●能登半島災害調査団の派遣(10/13-15)

元旦の地震と9月の大雨による一連の災害の実態や減災の実際、課題を検討するため、調査団を派遣しました。調査結果は当センターホームページ等で公表予定です。

●講演会「ドローン活用の最前線」の開催(10/22)



講演会の様子 請川氏(左)、林氏(右)

我が国のドローン第一人者である請川 博一氏、AIR WINGS 合同会社代表を務める林 賢太氏をお招きし、災害時の情報収集や訓練の実際などについてお話していただきました。

■お知らせ

来る12月11日(水)、当センター主催の令和6年度防災シンポジウム「北海道における広域複合災害と減災方策」を、北海道大学学術交流会館で開催します。詳細等につきましては、ホームページ等でお知らせいたします。
ホームページアドレス: <https://www.cnhr.info/>

メンバー活動報告

氏名	所属・役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)
山田 孝	農学研究院・特任教授	砂防学	広域複合災害減災手法(特に、異種ハザードの重なる区域での災害シナリオと減災手法)、土砂・流木災害減災手法、土砂災害自衛工法、火砕流被害想定手法
井上 京	農学研究院・教授	農業土木学	低平地, 特に泥炭地における地盤沈下に関する研究
佐々木貴信	センター長 農学研究院・教授	木質構造	災害発生時の倒流木等の利活用に関する研究
笠井 美青	農学研究院・教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測
厚井 高志	副センター長 CNHR・准教授	砂防学	火山噴火または地震に伴う大規模土砂生産イベント後の土砂・流木動態に関する研究
桂 真也	農学研究院・助教	砂防学	山地小流域における水文過程および崩壊・地すべり発生予測に関する研究
泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム
永田 晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学	小型深宇宙探査機用ハイブリッドキックモータの開発(本年度中にプロトタイプモデルの完成を目指しています)
江丸 貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学・ 制御工学	・大規模フィールドの管理を目的とした非均一なUGV・UAV群によるロボストSLAM ・港湾の維持管理を目的としたGNSSTRackerの開発
中嶋 唯貴	工学研究院・准教授	地震工学・建築 情報学	季節変動性を考慮した人的被害評価手法の開発と防災・減災手法の構築
山田 朋人	工学研究院・教授	水文学	・気候変動予測手法の開発と洪水リスク評価に関する研究 ・地球水循環システムと極端現象の解明に関する研究
田中 岳	工学研究院・助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究
石川 達也	工学研究院・教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究
渡部 要一	工学研究院・教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性
橋本 雄一	文学研究院・教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究
青山 裕	理学研究院・教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究
谷岡勇市郎	理学研究院・教授	地震学・ 津波学	広域津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSIに投稿する。
稲津 将	理学研究院・教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究
高橋 幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング・ 雷観測	超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築
方波見謙一	北海道大学病院・助教	救急医学	DMAT全国訓練参加(南海トラフ地震対応)、DMAT北海道訓練参加(千島海溝地震対応)
上田 佳代	医学研究院・教授	環境保健・疫学	気候変動に伴う極端事象が医療や福祉体制に及ぼす影響に関する研究

関係者氏名	役職・所属	専門
丸谷知己	名誉教授(北海道立総合研究機構・理事)	砂防学
萩原 亨	客員教授	交通工学
山口真司	客員教授(政策研究大学院大学・教授)	地域防災・マネジメント学
小山内信智	客員教授(政策研究大学院大学・教授)	砂防学
奥野信宏	客員教授(名古屋都市センター長)	公共経済学
今 日出人	客員教授(株式会社ドーコン)	地域防災学
岡田成幸	客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター、アジア航測株式会社)	地震防災計画学(建築系)
室田哲男	客員教授(政策研究大学院大学・教授)	危機管理法政策, 消防・防災・減災政策, 危機管理法制
南 哲行	客員教授((一財)砂防・地すべり技術センター、NPO防災情報研究所)	国土保全学
松本浩司	客員教授(日本放送協会解説委員室解説主幹)	災害報道, メディア論, 地域防災
佐野寿聰	研究員(アジア航測株式会社)	リモートセンシング技術を用いた防災・減災調査計画
村上泰啓	研究員(北海道開発局)	リモートセンシング技術を活用した地被環境の解析
福井宏和	学術研究員	災害地質学, 粘土鉱物学
原田和子	事務	—